

鎌倉市図書館振興基金購入第 2 号提案

1 提案資料

- (1) 資料名：『倭国一覽路の記』（帙、内題）、『みちの草分』（題箋）『道草分』（地）
- (2) 資料：写本 線装本 6 冊 帙入り 1 頁凡そ 12 行 30 数字
- (3) 作者：不明（『補訂版国書総目録』に「倭国一覽」「路の記」「道草分」未掲載）
- (4) サイズ：228×159mm
- (5) 年代：不明（『新編鎌倉誌』（1685 刊）の記載内容を参考にしていると見られるところあり。古くても江戸中期以降と思われる。
- (6) 内容：
 - ① 一巻 55 丁。「序・凡例」に相当する記載有り。長祿江戸図（室町時代）、彩色絵図含め 7 図有り。武蔵・江戸城、御廓大概として各御門内について、又東海道日本橋～八丁堀、鉄砲洲、向島まで。
 - ② 二巻 32 丁。5 図有り。向島～増上寺あたり。
 - ③ 三巻上 43 丁。3 図有り。東海道品川宿入口大木戸～戸塚まで。
 - ④ 三巻下 35 丁。3 図有り。藤沢駅・金澤～法華堂～鎌倉
 - ⑤ 四巻上 36 丁。2 図有り。鎌倉～鶴岡八幡宮
 - ⑥ 四巻下 41 丁。3 図有り。鎌倉～円覚寺合計、242 丁、23 図。
- (7) 状態：
 - ① 一巻 第 3～8 丁、上部に虫損。各丁 1～2 字に影響有り。
 - ② 二巻 第 1～3 丁、下部にシミ。読解には差支えなし。
 - ③ 三巻上 第 1～12 丁、下部にシミ。読解には差支えなし。
 - ④ 三巻下 シミ、虫なし。
 - ⑤ 四巻上 第 27～36 丁、下部にシミ。読解には差支えなし。
 - ⑥ 四巻下 第 1～9 丁、下部シミ。読解には差支えなし。
全頁中央喉元に虫穴。読解には差支えなし。
第 36～41 丁、下部余白に虫損。読解には差支えなし。
- (8) その他：各冊に「本間文庫」の印有り。国文学研究資料館「蔵書印データベース」上で確認すると同館と立教大学図書館江戸川乱歩旧蔵資料に同じ「本間文庫」の印影があるが所蔵者は不明。しかし早稲田大学図書館古典籍データベース所蔵資料の「本間文庫、と同じ印影があり、所蔵者が同大名誉教授本間久雄（英文学者、国文学者）とのこと。
- (9) 書店名：沙羅書房（東京都千代田区神田神保町 1-32）
- (10) 目録名：『創業五十周年記念沙羅書房古書目録第九四号』平成 29 年
- (11) 価格：400,000 円（本体価格）32,000 円（消費税）

2 提案理由

- (1) 本書の内容が江戸から鎌倉までの地誌であり、6 冊中最初の 3 冊が江戸についての詳しい説明と鎌倉への道中の様子がわかる資料で、後の 3 冊が絵図も含め鎌倉についての詳細な記載であること。
- (2) 『補訂版 国書総目録（全 8 巻）』（岩波書店）にも出ておらず、写本であることから非常に珍しい資料であること。
- (3) 各冊ともほぼ楷書で丁寧に書かれ、図についても精緻であり、経年によるシミ、また若干の虫損はあるものの、鎌倉に関して言えば、読解できない部分はないこと。
- (4) 内容についての詳細な調査は今後の課題となるが、『新編鎌倉志』をベースに『万葉集』『徒然草』『俳諧』等多くの文献も引用し充実していること。